

鹿児島県大島郡宇検村湯湾915番地
電話：0997(67)2211番
FAX：0997(67)2987番
発行所：宇検村役場
編集：企画課
URL <http://www.uken.net>
Mail kikaku@uken.net

**CONTENTS**

- P 2～3 村長・議長新年のあいさつ
- P 4～5 むらの話題
- P 6～7 お知らせ
- P 8 大相撲力士が来村
- P 9 シマ自慢
- P 10 村民のうごき



新年明けましておめでとうございます！今年、うし年になります。表紙の写真は、(有)大都肉用牛生産組合で大切に育てられている牛です。牛のようにモリモリ食べて、今年も元気にがんばりましょう。

新年のごあいさつ

「村民の声に耳を傾け、村民が安心して暮らせる村政を目指して。」 國馬 和範 村長

村民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

輝かしい平成二十一年の新春を迎えるに当たり謹んでご挨拶申し上げます。

私も村民の皆様のご支援を頂きまして三年目を迎えることができました。心から感謝申し上げます。

私は村長就任以来、村の活性化のため、公約で掲げた施策を一つ一つ実現させるため努力しているところでありますが、その実現のために、村民の声に耳を傾け、村民が安心して暮らせる村政を目指しております。

我が村は犯罪の無い、交通事故等の無い村づくりを目指しており、昨年は交通死亡事故ゼロ七千日を達成し、村民多数のご参加を頂き、盛大に記念式典を挙行之、更なる一万日達成を誓

ったところであります。今後とも村民の皆様のご協力をお願いいたします。

昨年は景気低迷の中で、世界的には、百年に一度と言う金融危機に見舞われた年でもあり、また、我が国では、凶悪事件や食品の偽装問題等も発覚し国民が不安を感じながら生活した年でもありましたが、今年は、国民、村民が希望の持てる年になつてほしいものです。

国の財政状況が厳しい中、本村もその影響を受け、厳しい状況の中で村政を運営しているところです。

本村が平成十七年に策定した『行財政改革実施計画』に基づいて、今後も歳入の確保と徹底した歳出削減を行っていき財政の安定化を目指していきます。

一昨年、集落座談会での

各集落からの要望事項については、すぐに出来る事項から実施を行いました。

また、期間の必要な要望事項については、優先順位を付け、財源等を見極めながら実施していきたいと考えております。

村内の活性化を図るためには、何と言いましても、一次産業の振興であります。このために、結いの心で村興しを基本に、村内に適した作物の奨励を進めていくところですが、農産物の付加価値を高めるために干拓地に活性化センターを建設中であります。

完成後、村民の皆様方にごの施設が活用されることにより、村内の農産物が活かされていくものと期待しているところです。

村内の道路整備について

は、村内至る所で道路改良

工事が急ピッチで整備中ですが、特に村民から強い要望がありました県道湯湾（新村線（大畑工区））が着々と整備されており、また、湯湾集落周辺の県道バイパス工事も終盤にきており、今年一月三十日に開通する予定であります。

この様に、色々な施策を展開しておりますが、今後とも宇検村の明るい未来のために取り組んで参る所存でありますので、村民の皆様方のご協力ご支援をお願い致します。

最後になりますが、村民の皆様方のご健勝とご多幸を御祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

平成二十一年一月

宇検村長 國馬 和範



村民の皆様、明けましておめでとうございます。ここに輝かしい希望に満ちた新年を迎えるにあたり、

宇検村議会を代表いたしまして、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年中は、議会活動に対し、深いご理解と、ご協力を頂き誠にありがとうございました。

特に八月の任期満了に伴う宇検村議会議員選挙におきましては、村民の皆様方の暖かいご支援を頂き、新たに八名の議員が誕生いたしました。

この場をお借りして、厚くお礼を申し上げたいと思います。

新議長、副議長の体制も整い、新たな気持ちで皆様と一緒に頑張って村政発展に全力で、頑張る覚悟です。

どうかこれからも変わらぬご指導、ご鞭撻を、お願い申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、世界的な金融不安や、食の安全が脅かされた、見通しのたたない年でもありました。

国内においては、三位一体の行政改革のもと、地方行政の住民サービスなどにも、直接影響するような、燃料費や諸々の物価の高騰もあり、国内外を問わず大変厳しい年でした。

しかし、宇検村においては、長期振興計画（後期5ヶ年）が、平成二十年度からスタートしており、希望のもてる年でもありました。

湯湾地区の村営住宅の建設や、屋鉦・佐念地区の道路の改修工事等、また須古橋の架け替え工事や湯湾新

村線の大畑工区の道路改修や村内水道工事が年次的に計画され実施されております。

また懸案でありました診療所の問題も今年四月には新しい先生を迎えることになっております。

これからも、十年後、二十年後の宇検村の在るべき姿をえがき、安全で快適に暮らせる宇検村づくりのために、少子高齢化対策等の福祉施策、生活基盤整備、防犯・防災対策の強化、健康づくりや教育の充実、活力ある産業基盤づくり等の重要課題にも村当局と充分に審議を深め、皆様の声を村政に反映させ、議会としまして積極的に取り組めます。

この厳しい財政の難局を村民の皆様方のご理解と、

ご協力を頂きながら、村当局と連携を取り、皆様方が安心して暮らせる宇検村づくりに、議会議員一同、更なる努力をしまいる所存でございます。

おわりになりますが、今年一年が皆様方に取りまして、幸せ多い年でありまして、心からお祈り申し上げます。といたします。

平成二十一年一月

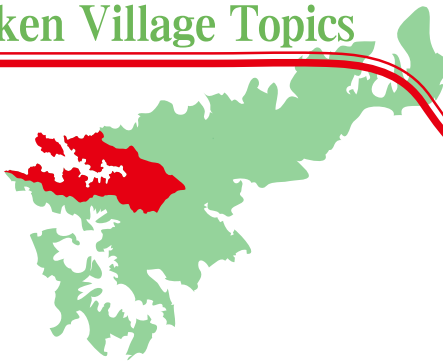
宇検村議会議長

前田 啓一

「宇検村の今後あるべき姿をえがき、

重要課題に取り組みます。」 前田啓一 議長





わきやしま しゅん わだい 宇検村の旬な話題

*このコーナーでは、宇検村内の旬な出来事を紹介します。みなさんの周りにあるめずらしいことなど、情報をお待ちしています。

宇検村役場 企画課 広報係 ☎ 0997-67-2211



第50回奄美群島社会福祉大会 ～宇検村で福祉について関心を深める～

平成20年11月20日に「奄美群島社会福祉大会」が宇検村元気の出る館で行われました。

50回目の記念となる今大会は、奄美群島内の福祉に
チン太鼓や鈴などを使った療養音楽 関係する多くの方々が参加するなか、「自立を支える人に優しい福祉のまちづくり」を大会テーマに掲げ、盛大に開催されました。

大会では、オープニングで特別養護老人ホーム『虹の園』の利用者による療養音楽が披露され、福祉の現場で活躍する方々への表彰が行われたほか、本村の中学生による福祉の学習体験発表や福祉作文の発表が行われました。

また、「アツキヨ」が記念ライブを行い、アツシさんの魅力的な歌声と聴覚障害を持つ Kiyoko さんの手話を取り入れ全身を使った表現が、訪れた観客を魅了しました。



学習体験発表の高田唯香さん（久志中）



作文発表の田川佳奈子さん（田検中）



地区中学新人男子バレー ～田検中男子が合同チームで優勝～

第5回大島地区中学校男女新人バレーボール大会（大島地区バレーボール協会主催）が11月29日に、奄美市笠利町の太陽が丘総合体育館で行われました。

この大会へ東城中、住用中との合同チームで出場した田検中男子バレー部（4名）が、4チームで行われた総当たり戦を全勝で制し、見事優勝を飾りました。

昨年までは朝日中・東城中との合同チームでしたが、今年4月から住用中・東城中との合同チームになり、練習を重ね今大会に挑んだ宇検男子バレー部は、初戦で強豪の小宿中を下し勢いを付けると続く笠利中、金久中にもストレートで勝利し、全勝優勝を決めました。

監督を務める岡村 克久教諭は、「とにかく攻撃力のあるチームです。どこからでも強いスパイクを打っていきます。選手一人一人が成長している証拠です。」と話してくれました。

村合同金婚式を祝う 三組のご夫婦が出席



金婚式へ出席された福さん、中村さん、元山さんご夫婦（左から）

合同金婚式が十一月二十一日、やけうちの里で行われ、中村勇さんとタツ子さん（田検）夫婦、元山義一さんと和子さん（湯湾）夫婦、福一久さんとスエ子さん（湯湾）夫婦の三組が出席しました。昨年未までに結婚五十年以上の夫婦を対象とした金婚式では、國馬村長より記念品が贈呈され、祝い唄から余興まで盛大に行われました。

今後、苦楽を共に分かち合い、ご夫婦仲良く長生きされて下さい。

県PTA活動研究委嘱公開

～連携を研究テーマに宇検村大会を開催～



活発な意見交換が行われた分科会のように

平成20年度の鹿児島県PTA活動研究委嘱公開宇検村大会が、12月6日に村生涯学習センター元気の出る館で開催されました。

「学校 家庭 地域が連携して心豊かな子どもを育成する PTA 活動はどうあればよいか」を研究テーマに、分科会では本村の田検小学校、田検中学校、久志小中学校のPTAにより活動事例が発表され、各地から参加したPTA及び、教育関係者と意見交換を行いました。また、アトラクションでは名柄小中学校の生徒が『エイサー』を披露したほか、全体会では親業訓練協会の西山 寿賀子さんによる「子どもの元気は親の元気 親の元気は子どもの笑顔」という演題での講演が行われました。

今大会で、学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割を認識しながら連携する大切さや、子どもを育成する上で、益々重要となっているPTAの果たすべき役割などを再確認しました。

田検保育所のおゆうぎ会

平成20年12月13日に、田検保育所の第22回おゆうぎ会が行われました。

当日は、0歳児から6歳になる年長組までの52名の入園児が、元気な合唱や可愛らしいお遊戯など15のプログラムで、鑑賞に来られた保護者や祖父母の



オープニングで全入園児による合奏を披露

方々などを楽しませてくれました。

富山 利枝子園長先生の「今年は、おゆうぎ会への欠席者はゼロです。全員が、一生懸命がんばってきた練習の成果を披露してくれます。」という話のとおり、全入園児が出席し、この日のために1カ月以上前から練習してきたことを、元気に楽しみながら発表していました。

子供たちの張り切って踊る姿や、恥ずかしがりながらも最後まで演技する姿などに、訪れた方々からたくさんのあたたかい声援や拍手が送られました。



かわいらしいフラダンスで決めポーズ（ぞう組）